うごかす、とめる。
Nabtesco

Innovation In Action
Vision 2030

ナブテスコ株式会社　証券コード：6268

ナブテスコ株式会社
2026年12月期第3四半期
決算説明会資料

2026年11月13日

常務執行役員　碓井 浩

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。
当資料に掲載されている内容のうち数値、比率は四捨五入して表示しています。
本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

本日のサマリー

1 **持分法適用会社の利益取り込みが過少であったことから過年度修正を実施。**
レビュー付き短信が義務付けられ決算発表日を変更。通期予想は変更なし。

2

3Q累計実績：前年同期比　増収増益

連結売上高　　：2,508億円（+316億円　YoY+14%）
連結営業利益　：　234億円（+ 79億円　YoY+51%）

- 全セグメントで増収 | 増収幅が大きい事業
  精密減速機（+122億円）、自動ドア(+79億円)、舶用機器（+51億円）
- 3セグメントで増益
  CMP (+35億円）、TRS（+37億円）、ACB（+9億円）

通期計画への進捗率：売上高 73%、営業利益 72%
通期計画達成に向けて順調な進捗

CMP: Component Solutions Segment, TRS: Transport Solutions Segment, ACB: Accessibility Solutions Segment, MFR: Manufacturing Solutions Segment

© Nabtesco

1. 2026年12月期3Q累計実績

1-1. 2026年12月期 第3四半期累計連結業績実績

■全てのセグメントで増収したことに加え、収益性改善も進み増益

(単位：億円)	2025/12 3Q累計実績 (A)	2026/12 3Q累計実績 (B)	前年同期比 増減額 (B-A)	前年同期比 増減率 (B/A-1)	2026/12 通期計画 (7/31公表) (C)	進捗率 (B/C)
売上高	2,192	2,508	316	14%	3,440	73%
営業利益	155	234	79	51%	326	72%
(営業利益率)	7.1%	9.3%	2.2pt	-	9.5%	-
金融損益	-5	-1	4	-	-	-
持分法投資利益	6	15	9	150%	-	-
税引前利益	156	248	92	59%	363	68%
親会社所有者に所属する当期利益	118	170	52	44%	241	70%
一株当たり当期利益（円）	98.09	145.02			206.20	

1-2. 2026年12月期 第3四半期累計連結業績実績（セグメント別）

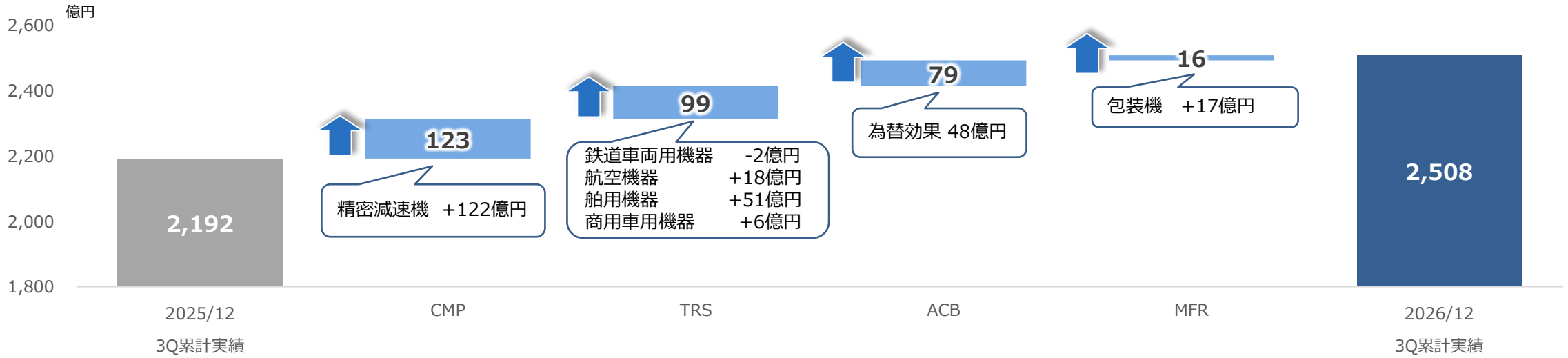
Innovation In Action
Vision 2030

(単位：億円)		2025/12 3Q累計実績 (A)	2026/12 3Q累計実績 (B)	前年同期比 増減額 (B-A)	前年同期比 増減率 (B/A-1)	2026/12 通期計画(7/31) (C)	進捗率 (B/C)
コンポーネント	売上高	575	698	123	21%	953	73%
ソリューション	営業利益	39	74	35	91%	97	77%
(CMP)	(営業利益率)	6.8%	10.6%	3.9pt	—	10.2%	-
トランスポート	売上高	715	814	99	14%	1,127	72%
ソリューション	営業利益	110	147	37	34%	194	76%
(TRS)	(営業利益率)	15.4%	18.0%	2.7pt	—	17.2%	-
アクセシビリティ	売上高	785	864	79	10%	1,171	74%
ソリューション	営業利益	62	72	9	15%	107	67%
(ACB)	(営業利益率)	7.9%	8.3%	0.3pt	—	9.1%	-
マニュファクチャリング	売上高	117	132	16	13%	189	70%
ソリューション	営業利益	12	12	-0	-1%	26	45%
(MFR)	(営業利益率)	10.0%	8.8%	-1.2pt	—	13.8%	-
本社又は消去		-68	-71	-2	4%	-98	-
連結合計	売上高	2,192	2,508	316	14%	3,440	73%
	営業利益	155	234	79	51%	326	72%
	(営業利益率)	7.1%	9.3%	2.2pt	—	9.5%	-

1-3. 売上高・営業利益 増減分析 | 2026年12月期 第3四半期累計

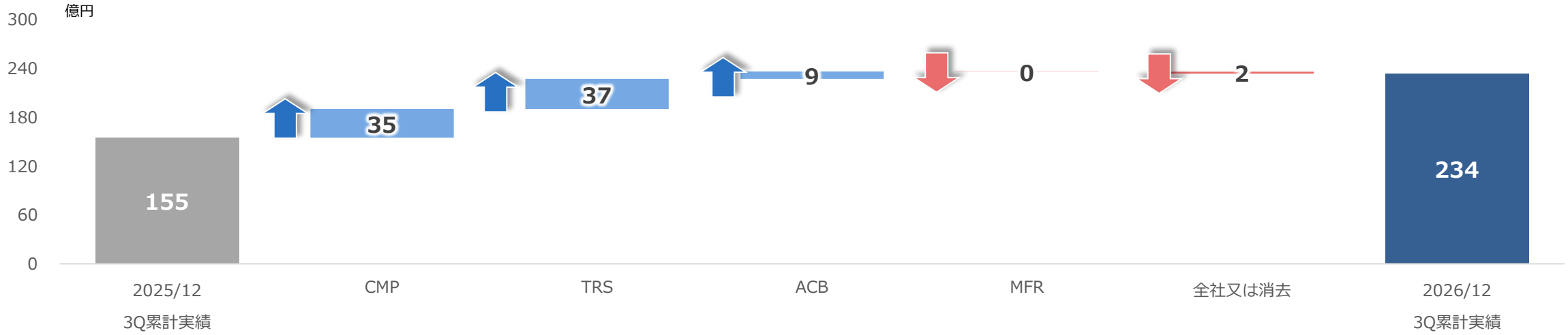
売上高

■全てのセグメントで増収



営業利益

■増収による増益に加え、Project 10効果により増益



1-4. 貸借対照表 - 2026年12月期 第3四半期末時点 -

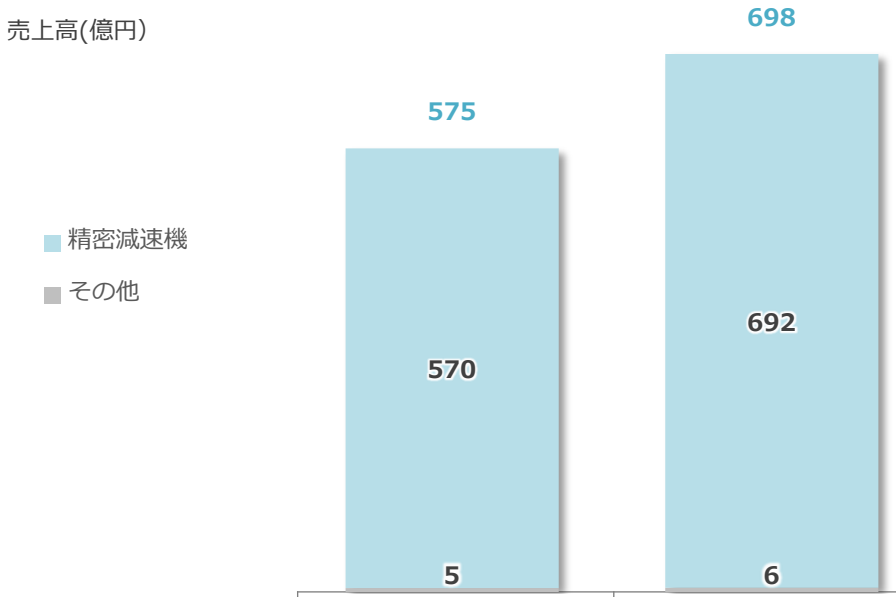
■ コムテスコ社（油圧機器事業）の株式譲渡により、同事業に関連する項目が減少
8月以降取得した自己株式については、12月15日に消却予定

（単位：億円）	2025/12 期末 2025年12月31日	2026/12 3Q末 2026年9月30日	差異
資産	4,666	4,452	-215
（現預金等）	733	851	118
（売上債権）	786	681	-106
（棚卸資産）	528	604	75
（売却目的で保有する資産）	437	-	-437
（非流動資産）	2,102	2,183	81
負債	1,763	1,588	-174
（借入金）	450	433	-17
（売却目的で保有する資産に直接関連する負債）	123	-	-123
資本	2,904	2,863	-40
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	13	-	-13
(自己株式)	-30	-115	-85
(非支配持分)	169	120	-49
親会社の所有者に帰属する持分	2,735	2,743	8
親会社所有者帰属持分比率：	58.6%	61.6%	3.0pt

2. セグメント別

2-1. CMPセグメント業績 - 2026年12月期 第3四半期累計-

前年同期比　増収 ↗　増益 ↗

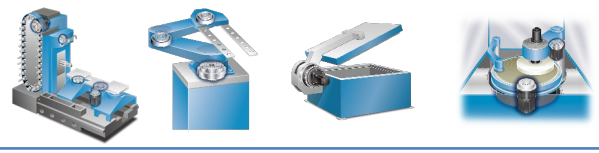


	2025/12 3Q累計実績	2026/12 3Q累計実績
営業利益（億円）	39	74
営業利益率	6.8%	10.6%
受注高（億円）	590	729

セグメント業績（前年同期比）

事業	業績
精密減速機	【ロボット向け】中国・韓国の自動車メーカーで設備投資需要が好調に推移
	【ロボット以外】工作機械、半導体製造装置向けで需要が好調
営業利益	増収による増益 一部経費等の発生遅れは継続

通期見通し

事業	市場環境
精密減速機	【ロボット向け】 ・日本　安定的な自動化ニーズにより大きな需要環境の変化なし ・中国　中国では新興EVメーカーで設備投資需要堅調 ・北米　一部自動車メーカーで需要回復の動きを見込む ・欧州　引き続き需要の低迷を見込む
	【ロボット以外】 工作機械・半導体製造装置向け ともに需要は堅調 

トピックス

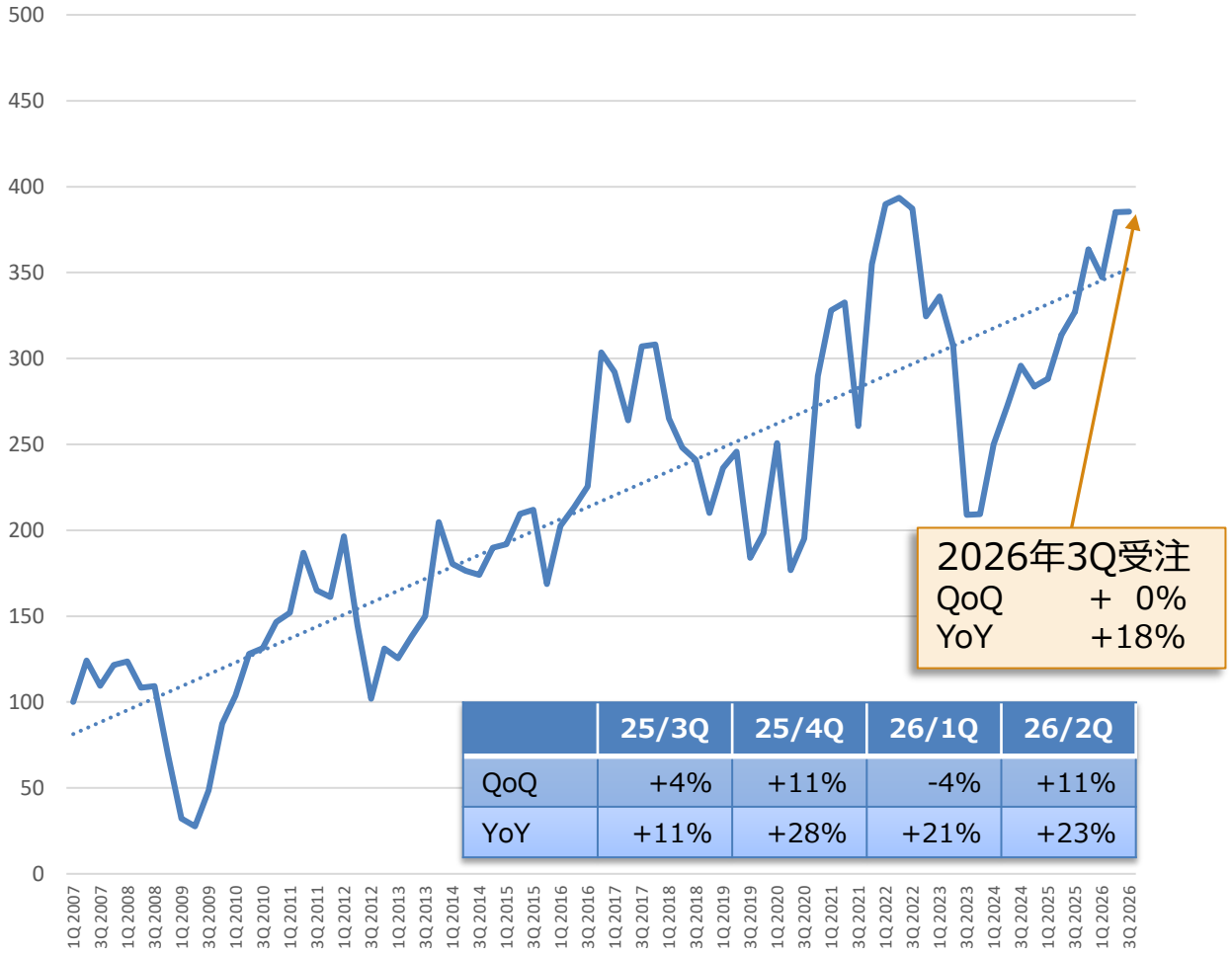
RVmini は予定通り2026下期から納入開始

© Nabtesco

2-1-2. 精密減速機受注推移/生産能力と稼働率

■2026年3Qも前年同期比で増加基調が継続

精密減速機　受注推移

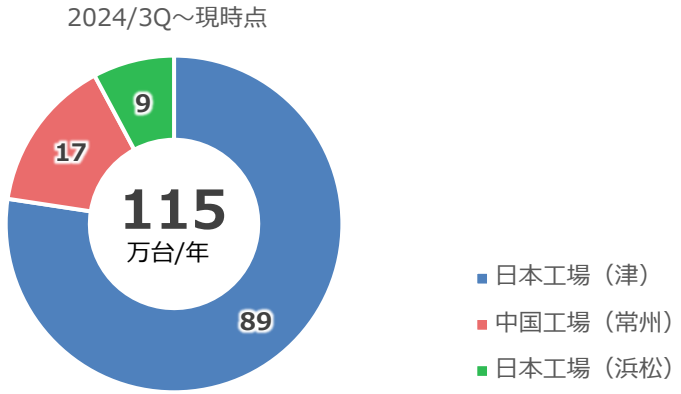


	25/3Q	25/4Q	26/1Q	26/2Q
QoQ	+4%	+11%	-4%	+11%
YoY	+11%	+28%	+21%	+23%

2007年1Q受注を100とした指数

生産能力と稼働率

■生産能力



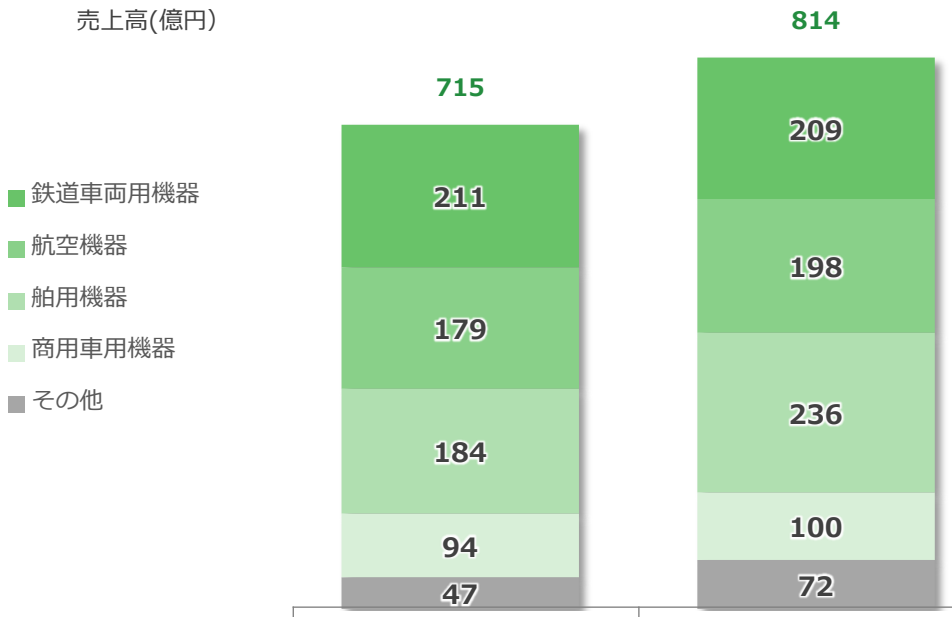
■各工場の稼働状況

工場	稼働率				
	25/3Q	25/4Q	26/1Q	26/2Q	26/3Q
津工場（日本）	70%	70%	75%	85%	85%
常州工場（中国）	110%	115%	90%	100%	95%
浜松工場（日本）	徐々に生産数量拡大中				

※上記稼働率は3直20日/月を前提に算出

2-2. TRSセグメント業績 - 2026年12月期 第3四半期累計 -

前年同期比　増収 ↗　増益 ↗



	2025/12 3Q累計実績	2026/12 3Q累計実績
営業利益（億円）	110	147
営業利益率	15.4%	18.0%
MRO比率	45%	40%
受注高（億円）	786	1,100

セグメント業績（前年同期比）

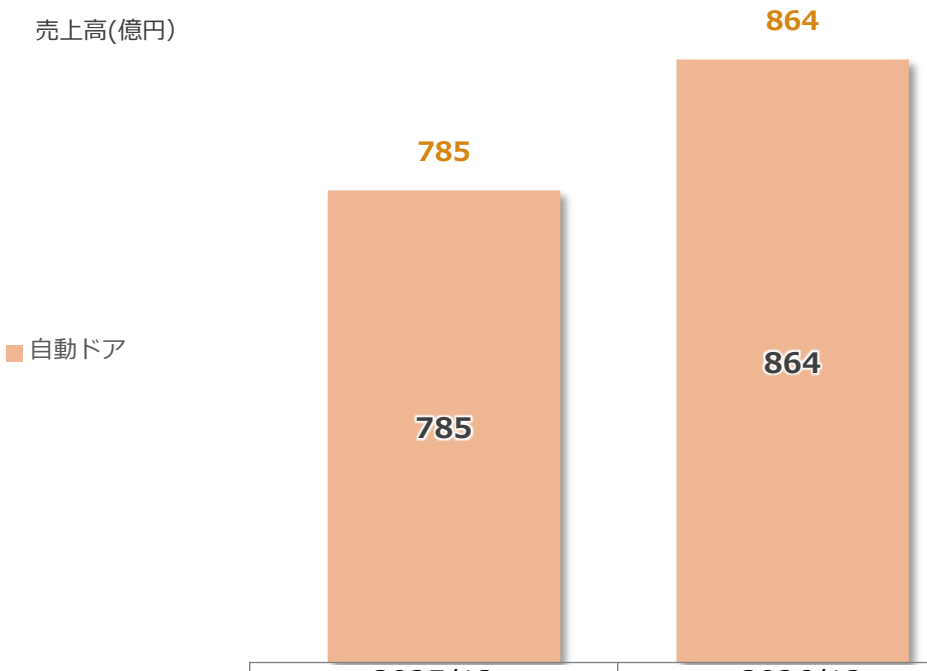
事業	業績
鉄道車両用機器	国内外のMROは増加したものの、欧州子会社売却により微減
航空機器	民間航空機向けでの需要が増加し増収
舶用機器	中国を中心とした新造船向け需要とMRO需要が好調で増収
商用車用機器	国内市場や東南アジア市場での緩やかな需要回復もあり増収
営業利益	増収により増益

通期見通し

事業	市場環境
鉄道車両用機器	国内の新車投資抑制傾向継続
航空機器	好調な需要が継続
舶用機器	新造船向けおよびMROとも好調な需要が継続
商用車用機器	国内及び東南アジア市場回復の動き継続

2-3. ACBセグメント業績 - 2026年12月期 第3四半期累計-

前年同期比　増収↗　増益↗



	2025/12 3Q累計実績	2026/12 3Q累計実績
営業利益（億円）	62	72
営業利益率	7.9%	8.3%
MRO比率	45%	45%
受注高（億円）	847	897

セグメント業績（前年同期比）

※PD:プラットホームドア

事業	業績
自動ドア	【国内】新規建物用ドアは需要の端境期となり微減
	【海外】欧州、北米で建物用ドア需要が回復
PD※	【国内】納入時期ずれにより減収
	【海外】既存案件が進捗し増収
営業利益	増収による増益に加え海外事業の収益性改善

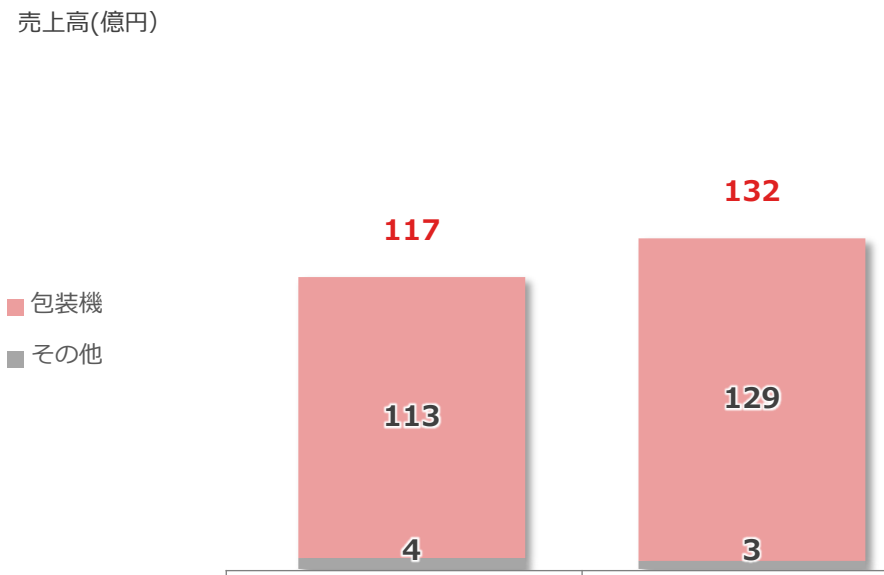
通期見通し

事業	市場環境
自動ドア	【国内】新規建物用ドアは需要の端境期が継続
	【海外】欧州、北米市場は想定通り堅調な需要が続く見込み
PD※	【国内】堅調な需要が継続する見込み
	【海外】設備工事付きの継続案件として香港、グラスゴーを残すのみ

© Nabtesco

2-4. MFRセグメント業績 - 2026年12月期 第3四半期累計-

前年同期比　増収↗　前期並み→



	2025/12 3Q累計実績	2026/12 3Q累計実績
営業利益（億円）	12	12
営業利益率	10.0%	8.8%
MRO比率 (包装機)	35%	35%
受注高（億円）	130	167

セグメント業績（前年同期比）

事業	業績
包装機	【国内】食品メーカーでの設備更新需要、生産増強の動きがあり増収 【海外】海外案件はアジアを中心に減収
営業利益	後工程ソリューションの提案案件で工数が増大し、コスト増加が発生

通期見通し

事業	市場環境
包装機	【国内】食品メーカーを中心に設備投資は好調が継続
	【海外】欧州や中国では需要回復の動きあり

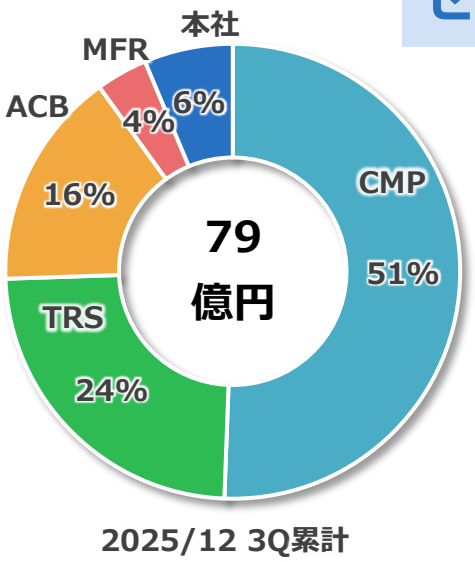
Appendix

設備投資額・研究開発費・減価償却費

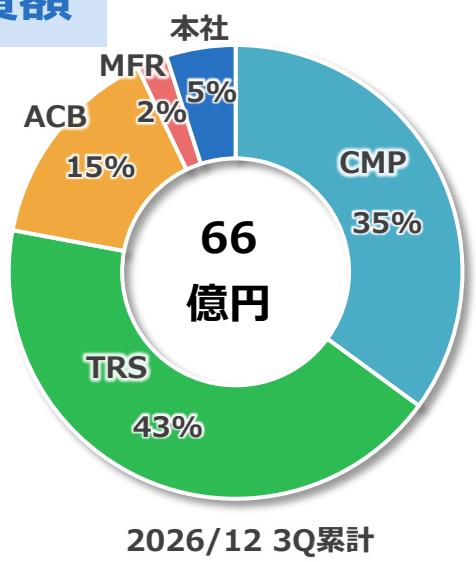
■設備投資の増額は主に老朽化設備の更新によるもの

(単位：億円)	2025/12 3Q累計実績 (A)	2026/12 3Q累計実績 (B)	前年同期比 (B-A)	2026/12 通期計画 7/31
設備投資額	79	66	-12	130
研究開発費	86	94	8	132
減価償却費	121	128	7	165

セグメント別設備投資額



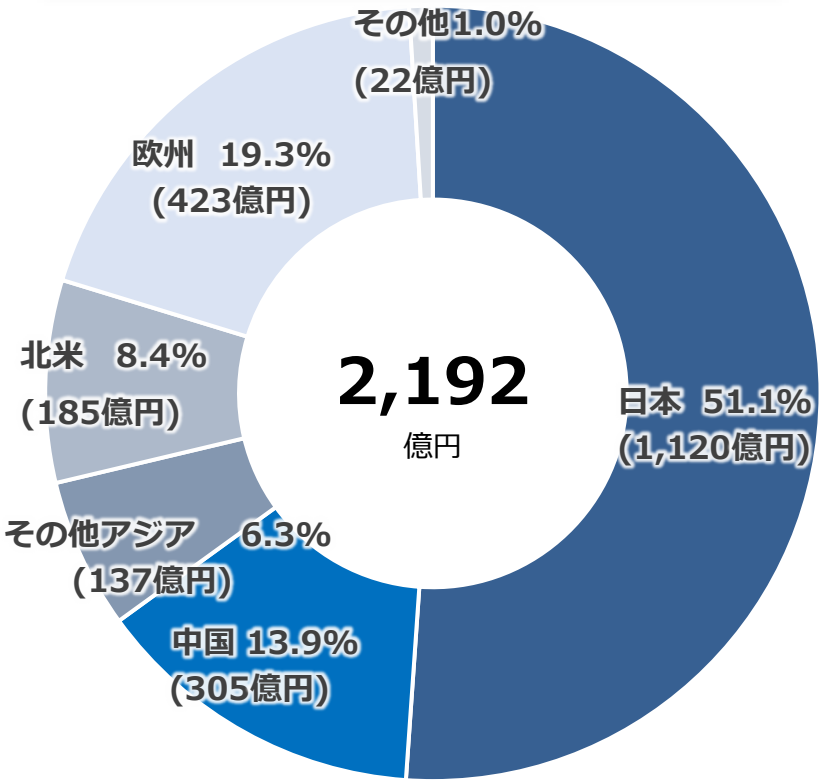
2025/12 3Q累計



2026/12 3Q累計

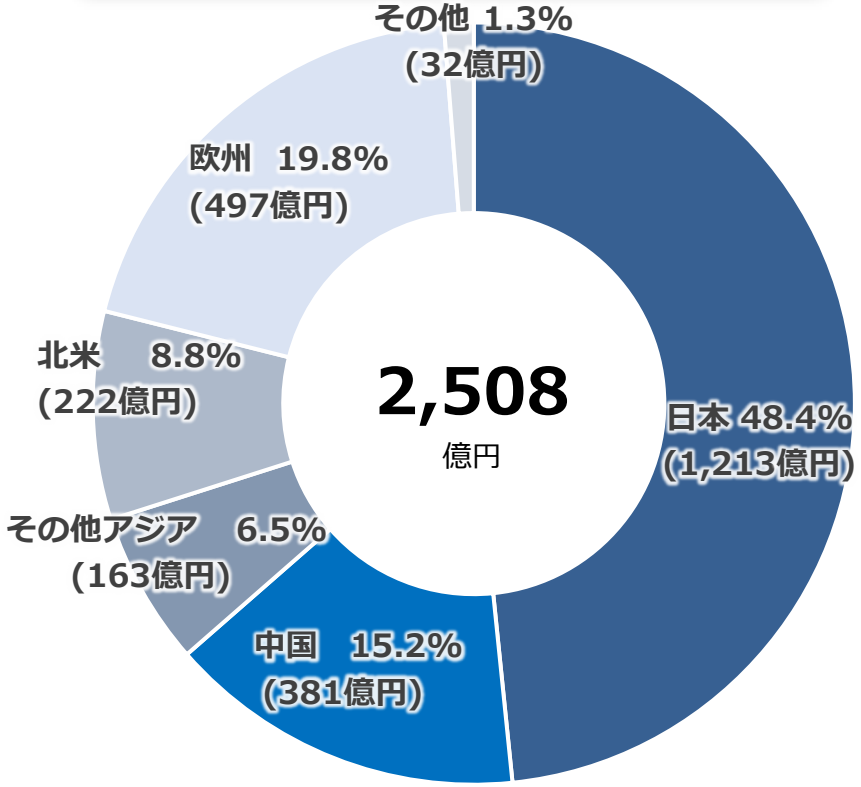
地域別売上高構成比

2025/12 3Q累計実績



海外売上高	1,072億円
海外売上高比率	48.9%

2026/12 3Q累計実績



海外売上高	1,295億円
海外売上高比率	51.6%

為替影響

■為替レート

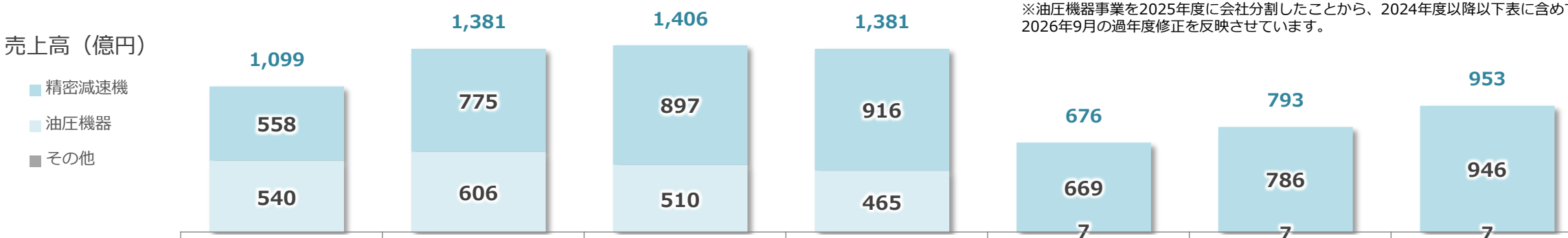
(単位：円)	2025/12 3Q累計実績	2026/12 3Q累計実績	2026 4Q前提
USD	147.78	158.85	150.00
RMB	20.58	23.22	21.50
EUR	165.57	184.21	175.00
CHF	176.49	199.40	190.00

■為替感応度（為替が1円変動したときの影響額）

(単位：百万円)	2026/12 3Q累計実績	
	売上	営業利益
USD	140	44
RMB	1,202	193
EUR	56	7
CHF	187	8

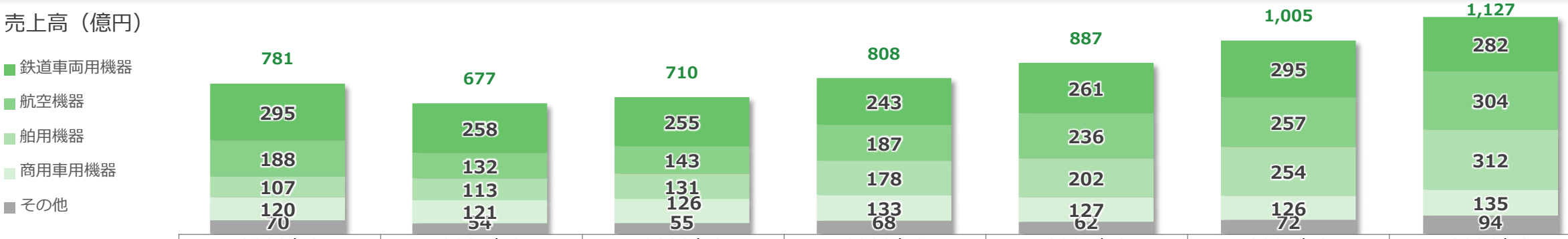
コンポーネントソリューションセグメント（CMP）

※油圧機器事業を2025年度に会社分割したことから、2024年度以降以下表に含めていません。
2026年9月の過年度修正を反映させています。



	2020/12 通期実績	2021/12 通期実績	2022/12 通期実績	2023/12 通期実績	2024/12 通期実績	2025/12 通期実績	2026/12 7/31修正計画
営業利益（億円）	177	229	159	104	27	54	97
営業利益率	16.1%	16.6%	11.3%	7.5%	3.9%	6.8%	10.2%

トランスポートソリューションセグメント（TRS）

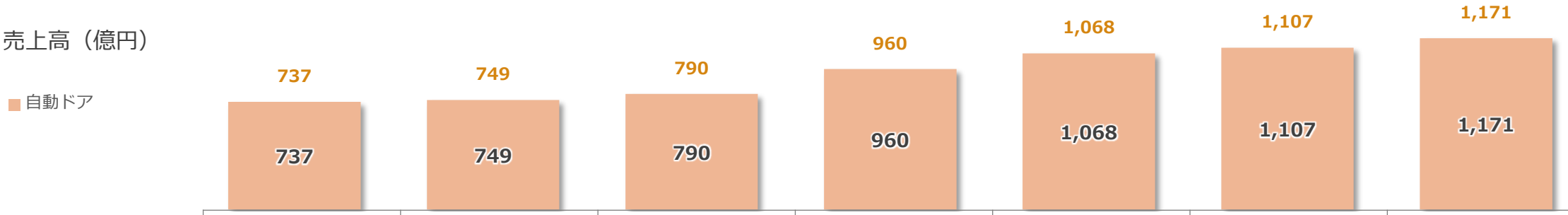


	2020/12 通期実績	2021/12 通期実績	2022/12 通期実績	2023/12 通期実績	2024/12 通期実績	2025/12 通期実績	2026/12 7/31修正計画
営業利益（億円）	33	56	67	78	124	137	194
営業利益率	4.3%	8.3%	9.5%	9.7%	14.0%	13.6%	17.2%

※従来の説明資料と事業の説明順が変更になりました。

アクセシビリティソリューションセグメント（ACB）

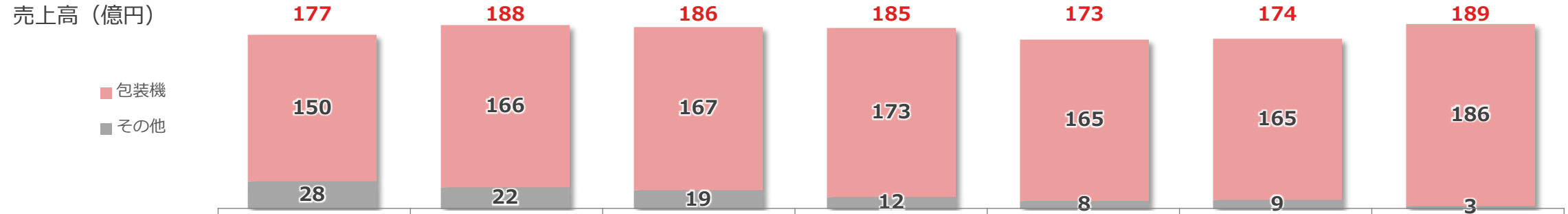
売上高（億円）



	2020/12 通期実績	2021/12 通期実績	2022/12 通期実績	2023/12 通期実績	2024/12 通期実績	2025/12 通期実績	2026/12 7/31修正計画
営業利益（億円）	76	73	34	55	93	95	107
営業利益率	10.4%	9.8%	4.3%	5.7%	8.7%	8.6%	9.1%

マニュファクチャリングソリューションセグメント（MFR）

売上高（億円）



	2020/12 通期実績	2021/12 通期実績	2022/12 通期実績	2023/12 通期実績	2024/12 通期実績	2025/12 通期実績	2026/12 7/31修正計画
営業利益（億円）	23	27	15	34	10	22	26
営業利益率	13.1%	14.5%	8.0%	18.3%	6.0%	12.6%	13.8%

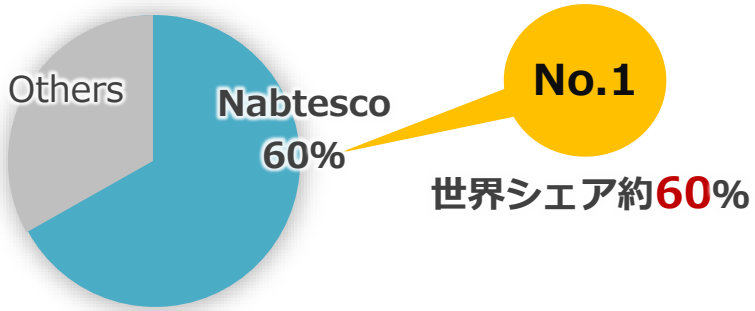
© Nabtesco

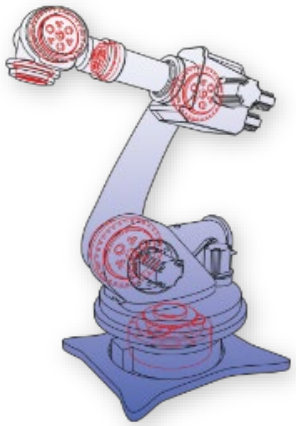
コンポーネントソリューションセグメント（CMP）主要製品

注：シェアは当社推計

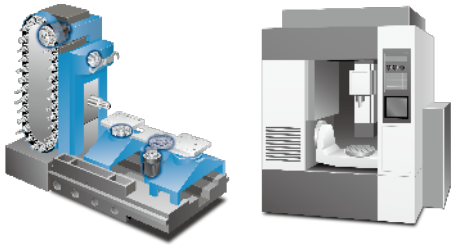
精密減速機

■中大型産業用ロボットの関節用途

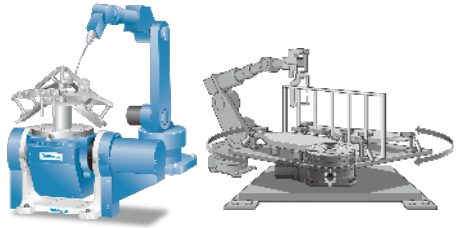




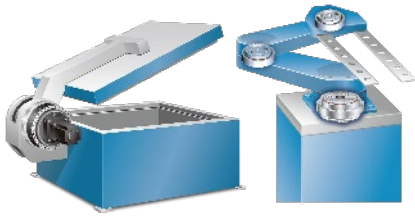
産業用ロボット以外の用途事例



工作機械
ツールチェンジャー / トラニオンテーブル



溶接
ポジショナー



半導体製造装置
チャンバー開閉装置/移載装置



通信用
アンテナ



医療用
X-ray



物流用
AGV/AMR

主要顧客（敬称略）

■精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

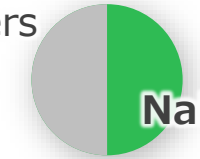
トランスポートソリューションセグメント（TRS）主要製品

注：シェアは当社推計

鉄道車両用機器

■鉄道車両用ブレーキシステム

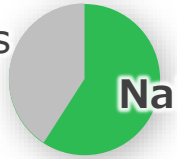




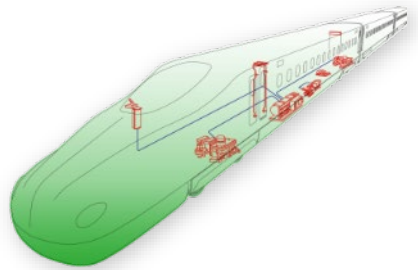
No.1 国内シェア約50%

■鉄道車両用ドア開閉装置





No.1 国内シェア約60%



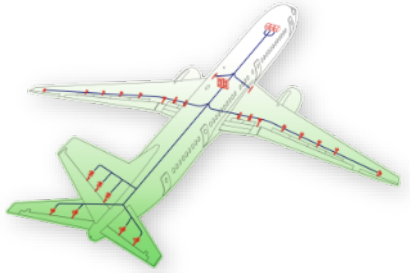
航空機器

■フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)





No.1
FCAの国産機
シェア約100%



主要顧客 (敬称略)

■鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、日立製作所、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け、海外鉄道各社

■航空機器

Boeing (米)、 川崎重工業、三菱重工業、 IHI、防衛省、エアライン各社

© Nabtesco

トランスポートソリューションセグメント（TRS）主要製品

注：シェアは当社推計

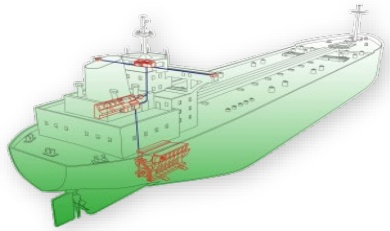
舶用機器

■舶用エンジン遠隔制御システム





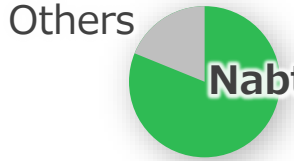
世界シェア約40%
(国内シェア約45%)



商用車用機器

■商用車用ウェッジチャンバー





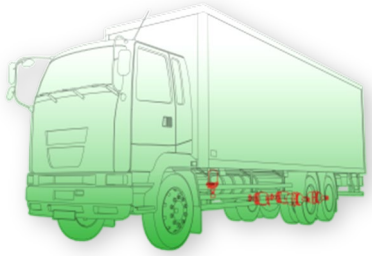
No.1 国内シェア約80%

■商用車用エアドライヤー





No.1 国内シェア約60%



主要顧客（敬称略）

■舶用機器

ジャパンエンジンコーポレーション、川崎重工業、マキタ、日立造船マリンエンジン、三井E&S
HD Hyundai Heavy Industries（韓）、 Hudong Heavy Machinary（中）、Hanwha Engine（韓）

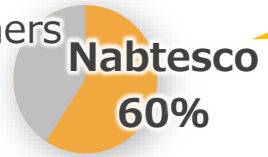
■商用車用機器 いすゞ自動車、日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

アクセシビリティソリューションセグメント（ACB）主要製品

注：シェアは当社推計

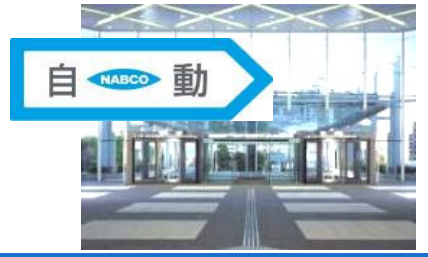
自動ドア

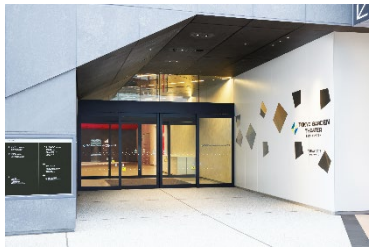
■自動ドア開閉装置



No.1

建物用自動ドア
国内シェア約60%
(世界トップクラス)







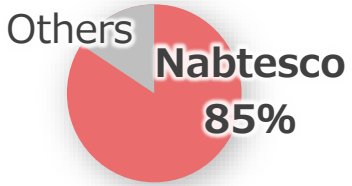
主要顧客（敬称略）

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関
プラットホームドア：JR・民鉄各社、各国都市交通向け

マニュファクチャリングソリューションセグメント（MFR）主要製品

包装機

■レトルト食品用充填包装機



No.1

国内シェア約85%







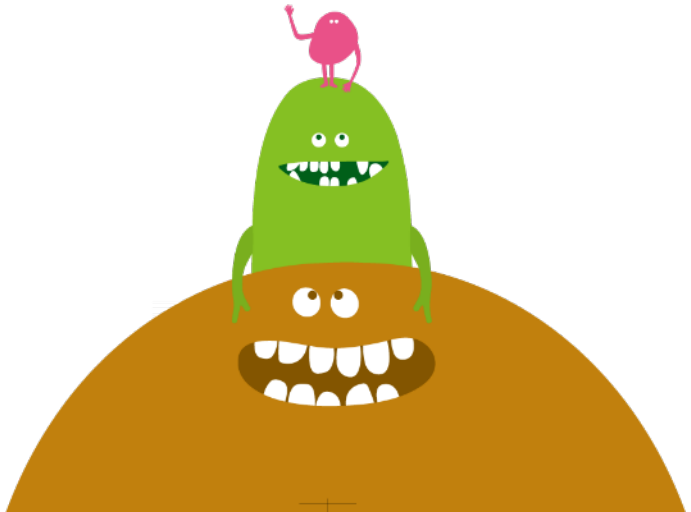
主要顧客（敬称略）

■包装機

DM三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。

Nabtesco



© Nabtesco